



「金沢市景観サポーター」とは・・・

金沢市長から任命された、金沢の良好な景観形成のために活動する市民ボランティア（任期2年）です。景観に関する「点検」「取材・記録」「参画」「景観誘導」等の活動を通して、広く市民の意識啓発や市民目線での提案などを行い、金沢市の景観行政をサポートしています。現在、第7期目の活動を行っています。

活動の軌跡

1期



「いいね金沢」(MROテレビ)出演



金沢の景観を考える市民会議

<主な調査内容>

- ・古写真等の収集・整理
 - ・定点観測写真撮影・台帳作成
 - ・定点観測写真分析評価カルテの作成
- など

2期



啓発用DVDの作成



景観勉強会

<主な調査内容>

- ・木造高層建築物等とその周辺の景観
 - ・泉水の景観と住民とのかかわり
 - ・街路樹が織りなす金沢の四季
 - ・水鳥と浅野川の景観とのかかわりに関する調査
 - ・舗装材から読み解く金沢の景観
 - ・沿道における広告物や建物の調査
- など

3期



広告物除却パトロール



ケーブルテレビ(わがまち大好き)出演

<主な調査内容>

- ・新景観資源探訪 ～金沢駅西広場赤花さんぽ道の誕生～
 - ・のれんが織りなす金沢の町並み
 - ・浅野川白波スロー誕生
 - ・金沢の景観に相応しい看板
 - ・金沢の街あかり調査
 - ・まちなかの小さな緑 ～小緑地をたずねて～
 - ・金沢の美しい建築調査 ～都市美実作調査～
- など

4期



『金沢らしい景観を支える看板』取材



韓国文化放送取材対応

<主な調査内容>

- ・街のうるおい ～街の中の自然～
 - ・金沢らしい景観を支える看板
 - ・街の記憶 ～高度経済成長期の建物たち～
 - ・樹木を通して感じる金沢らしい風情ある景観
 - ・現代建築とまちなみ
 - ・まちなかの石垣のある景観 ～藩政期のおもかげを訪ねて古地図と歩く～
 - ・まちなかの小さな坂と石段を訪ねて
- など

5期



いしかわ景観教室



金沢都市美文化賞功労賞受賞

<主な調査内容>

- ・交差点の景観調査 観光客目線で
 - ・金沢マラソン 気になった 沿道景観
 - ・浅野川の情景
 - ・自転車と共生する未来を考える ～駐輪場の景観～
 - ・放埒な女から野暮な女へ ～文学作品から川筋景観の変化を考える～
 - ・金沢らしい趣を伝える看板
 - ・金沢の夕焼けスポット
 - ・街のうるおい ～川川(橋の形と色・河川緑地・河川景観)～
- など

6期



各種団体への講演



かなざわ景観協力賞受賞

<主な調査内容>

- ・看板は街の顔～金沢の街を造った看板たち～
 - ・平成から令和へ～比べてみました～【定点観測】
 - ・金沢の眺望景観
 - ・金沢市まちなか区域の景観舗装
 - ・茶の湯が育む文化的景観
 - ・坂の下からと上からの眺望景観
- など

7期



連絡会議



現地調査

<主な調査内容>

- ・視覚障害者誘導用ブロックと景観舗装について
 - ・都市デザインとしての街路樹 ～金沢らしい街路樹のあり方を考える～
 - ・街のおもかげ一次の世代につなぐために
 - ・景観・パブリックアート
 - ・金沢のまちの色彩
 - ・観光デザインから景観デザインを考える
 - ・街の魅力を創る通りの景観
- など

調査の目的・概要

誘導ブロックの整備状況

景観舗装における視覚障害者誘導用ブロックのあり方に関する調査・検討

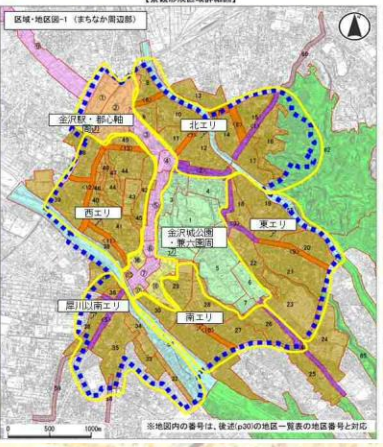
- 【調査概要】
- 誘導ブロックが敷設されている道路を対象に調査
 - 舗装種別や修景コンセプトなどを整理(前期参照)
 - 誘導ブロック・景観舗装カルテとしてとりまとめる
 - これらの敷設における課題と対策案を検討



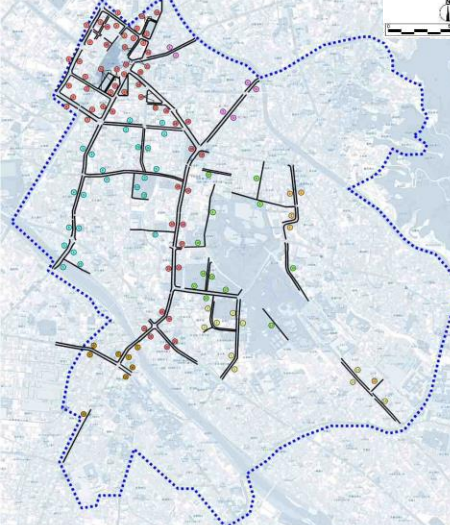
- 【景観舗装調査カルテ】(60区間-21km)
- 路線名:国・県・市道名(通称名)
 - 路線情報:延長、歩道・植樹帯の有無、整備年
 - 舗装種別:舗装種別、材料、色
 - 景観整備のコンセプト:設計計画段階のデザインコンセプトなど
 - 誘導用ブロックの状態:色、材質、前後周辺の状態等

【メンバー】
 岩佐 敬 上坂達朗 川端すぎな
 芹原俊輔* 吉岡佳寿芽 吉田芳弘
 (五十音順) ※景観政策課

【調査範囲】(下図の青点線の範囲)
 まちなか区域(無電柱化促進区域)

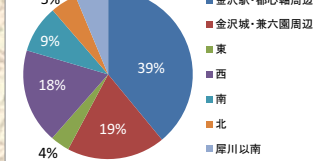


【誘導ブロックの敷設状況】

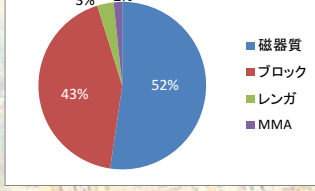


- ◆金沢駅周辺、都心軸、金沢城公園・兼六園周囲に多く整備されており、市道幹線道路歩道の整備箇所は少ない。
- ◆材質はコンクリートブロックと磁器質がほぼ半半ずつ。
- ◆色は景観舗装と同系色が最も多く、次いでグレー、淡い黄色、白、黄色の順。

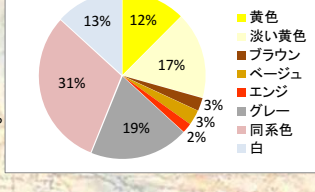
誘導ブロックの整備延長区分



誘導ブロックの材質区分

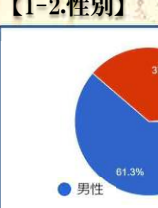


誘導ブロックの色区分

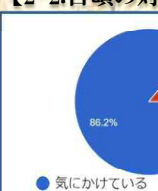
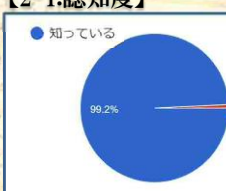


視覚障害者誘導用ブロックに関するアンケート調査結果(回答総数261件/健常者)

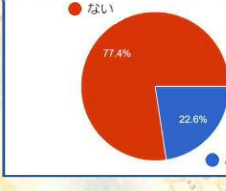
●1. 回答者の属性



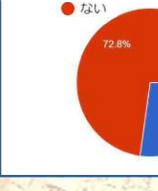
●2. 誘導ブロックへの認識



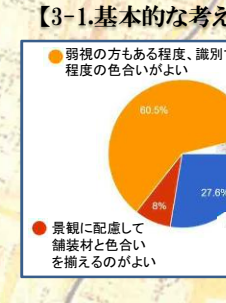
【2-3.歩行中のつまずき】



【2-4.自転車走行中の滑り】

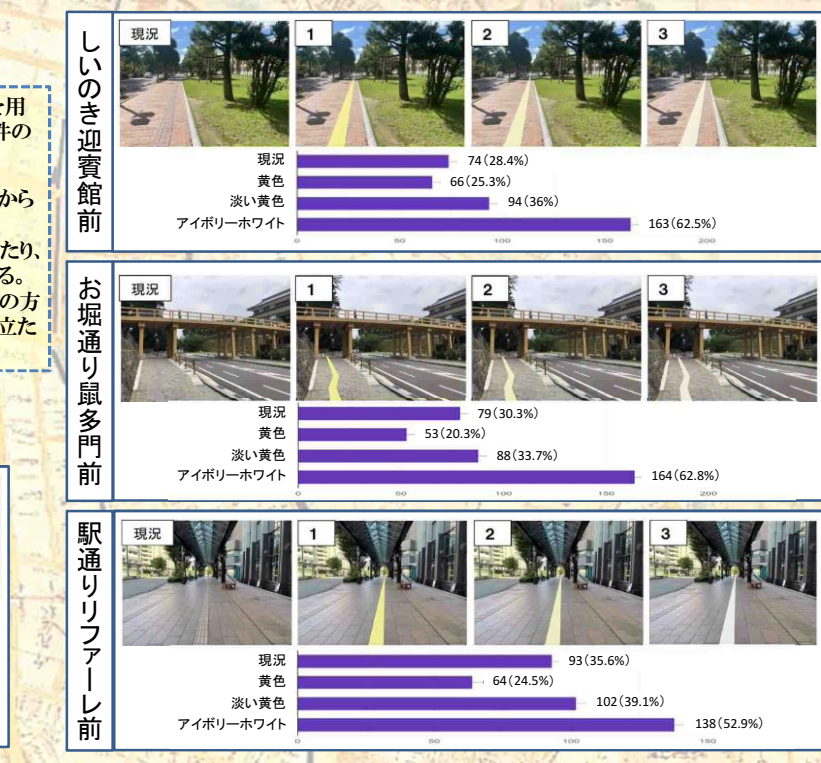
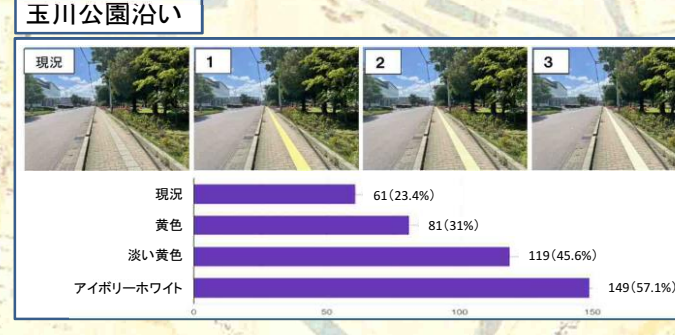


●3. 景観舗装と誘導ブロックの色合い



【考察】
 アンケート調査は、Googleフォームを用いて実施し、幅広い年代から計261件の回答を得た。
 ・誘導ブロックの認知度は高く、日頃から気にかけている人が多い。
 ・歩行中や自転車走行時につまずいたり、滑ったことがある人が少なからずいる。
 ・誘導ブロックの色については、弱視の方への配慮を優先しつつ景観的に目立たない色を求める意見が多い。

【3-2.具体箇所のシミュレーション比較】



弱視の方の見え方

●UDIによる誘導ブロックの色に関するワークショップに参加

比較した色:黄色、淡い黄色、ベージュ、グレー
 比較した材質:コンクリート、磁器質、MMA
 調査した場所:広坂通り、アメリカ風通り、尾山神社横、国道南町、武蔵ヶ辻、お堀通り、百万石通り

地の色、時間帯、天候による違いはあるものの、「淡い黄色が見えやすい」との回答が多くあった(詳細はUDI報告書を参照)

●望ましいあり方(対策案)

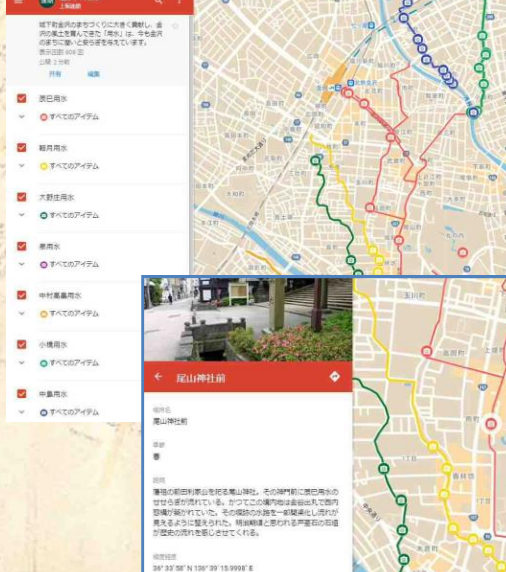
- 望ましい誘導ブロックの色
 弱視の方が見えやすい色
 健常者の多くが景観上良いとする色
 淡い黄色、アイボリー、白系
- 景観舗装に求められること
 ・できるだけシンプルなデザインにする
 ・一定の区間でできるだけ統一する
- 誘導ブロック材料・施工に求められること
 ・経年変化の少ない材料を選ぶ
 ・メーカー側のさらなる研究協力が求められる
 ・施工直後の誘導ブロックの白華現象を押さえる下地材の採用

景観舗装と誘導ブロックのあり方

●対策案のシミュレーション

美しい用水景観マップ・バーチャル用水サンポ

●美しい用水景観マップ(GoogleMAPで作成)



- 【操作方法】
- カメラマークのポイントをクリック(タッチ)すると、写真と説明が表示されます。
 - 写真は複数枚あるポイントもあります。
 - 上のQRコードから閲覧できます。

●バーチャル用水サンポ

- 【操作方法】
- それぞれのQRコードから閲覧可能です。
 - トップ画面右下のスタートをクリック(タッチ)すると各地点の360度映像が表示されます。
 - 画面内の撮影ポイントマーク又は画面下のサムネイルをクリック(タッチ)すればそのポイントへ移動します。
 - 今後、他の用水についても作成する予定です。

画面を上下左右自由に移動して見ることができます

撮影ポイントマーク

サムネイル

画面右側の磁石マークをクリックすると、空撮マップが表示され、見ている方向を表示します

①マークをクリック(タッチ)すると説明や写真がポップアップで表示されます

色々試してみてください!

都市の格を上げる街路樹(中心街)



片町と香林坊の比較



歩道が狭いなどの工夫がある(片町)



中木のカクレミノ、低木のアベリア

都市デザインとしての街路樹

〜金沢らしい街路樹のあり方を考える〜

戦災に遭わなかったので、細い道路の多い金沢の街路樹はどうあるべきか

担当 石川毅
松田昭一、中田廉子

歩道が狭い道路の街路樹(中心街)



街路樹が植えられない道路(中心部)



街路樹が植えられない道路(郊外)



街路樹のことを知ってもらう工夫を

〈出来たらいいなと思うこと〉

- ★街路樹マップの作成
- ★樹木札をつける
- ★各家庭の緑を受け継ぐ

〈誰がどう動くか〉

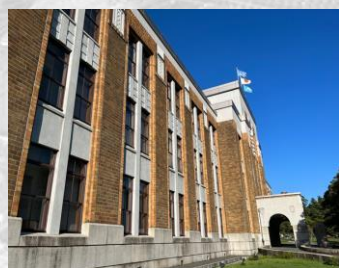
行政・市民→町会への啓蒙活動

学生や市民団体との提携

〈基本的な考え方〉

- ★重層的な緑を次の世代へ
- ★私のおうちも景色の一つ

という精神をみんなで共有しよう!



金沢には、守るべき大きな財産がある。
藩政期から始まったこの街には、江戸、明治、大正、昭和、平成、令和と様々な時代の特徴を表す建物が混在している。それぞれの時代に代表的な建物があり、その代表的な建物が歴史を作る。それが、現代の遺産として私たちの生活にどのように関わり、街を造っているのだろうか。街の魅力を高めるために、私たちには、何ができるのだろうか。

街のおもかげ

- 次の世代に受け継ぐために -

景観・パブリックアート

パブリックアートとは、市民が自由に入出りできる公共空間に設置される芸術作品。道路、広場、公園など屋外の彫刻や立体造形物、公共施設内の壁画などをさす。

1960年代のアメリカ合衆国で概念やことばが生まれた。

都市環境の改善、都市景観の形成、地域や空間の個性表現、文化振興や文化的価値の付加といった目的で設置される。銅像、彫像、石碑といった記念碑(モニュメント)的なもの、建物の装飾品・付属品的なものから、近年は周囲の環境や景観と調和しつつ、公共の空間をアーティストによる作品を展示する一つの美術館やギャラリーとしてとらえる傾向が強い。

(ブリタニカ国際大百科事典より)

金沢のパブリックアートは、古くからまちなかにあったが、金沢21世紀美術館の開館や金沢駅のリニューアル前後に、観光客誘致の目的で作成、整備された。最近では、屋外彫刻以外のパブリックアートが目立っている。



まちしるべ 大森達郎作 香林坊アトリオ広場

次のパブリックアートは、どこにありますか？



A



B



C

A.中央公園「愛と希望」 B.長町緑地「アブソープ」 C.松ヶ枝緑地「Swell」

金沢のランドマークは、どれだと思いますか？



徽軫灯籠

©金沢市観光協会



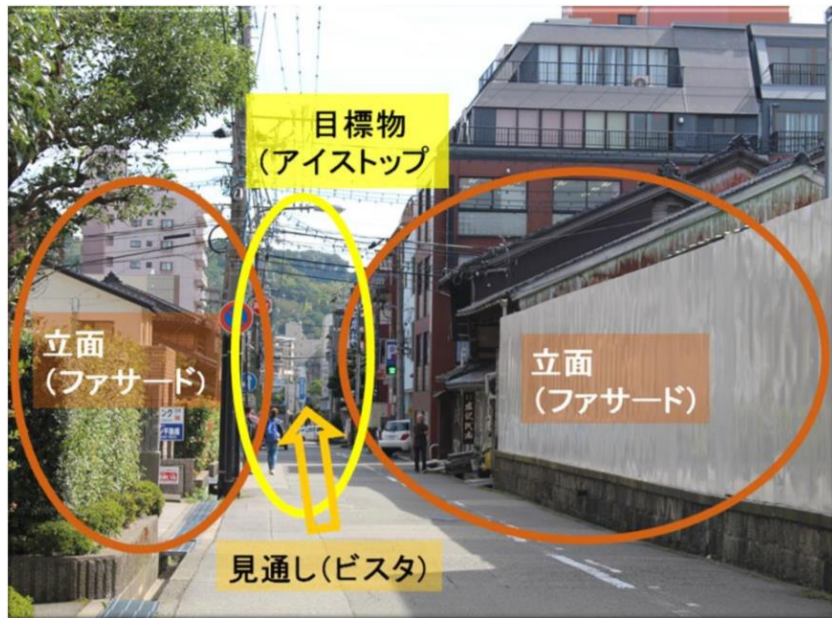
悠颯(ゆうよう)



もてなしドーム・鼓門

©金沢市観光協会

通りの景観



通りでは、並木や建築物の外観の立面（ファサード）により見通し（ビスタ）が形成され、正面の目標物（アイストップ）を意識的または無意識に利用して、通りの景観が形成されている。

金沢では、通りの向こうに建築物や山並、河岸段丘、樹林などがあり、特徴的な通りの景観が形成されている。



目標物（アイストップ）：寺町台地
立面（ファサード）：橋の欄干
河岸段丘により形成された法面は金沢の特徴的な地形となっている



目標物（アイストップ）：犀川大橋
立面（ファサード）：建築物
国の登録有形文化財のこの橋は築100年余りで市民に親しまれた建造物となっている



目標物（アイストップ）：金沢城址
立面（ファサード）：街路樹
街路樹の向こうに金沢城址の森があり 市街地の中心部とは思えない緑の景観となっている



目標物（アイストップ）：尾山神社神門
立面（ファサード）：建築物
国指定の重要文化財で和漢洋折衷の神門は金沢を象徴する建築物で 歴史を感じさせる景観となっている